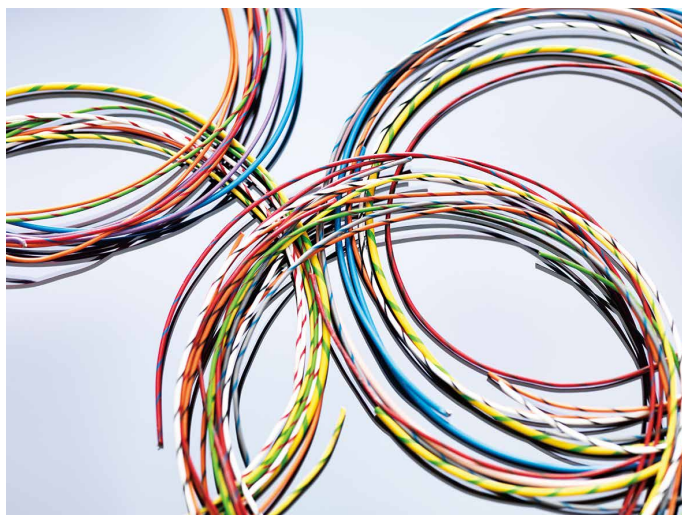


フタル酸エステル類分析サービス

フタル酸エステル類はフタル酸とアルコールがエステル結合した化合物の総称で、樹脂の可塑剤として幅広く利用されています。近年、生殖毒性や発癌性、内分泌かく乱物質としての作用などヒトへの有害性が懸念され、国内外で使用規制の動きが強まっています。また放散、転写など移行性が懸念されており、その管理には注意を払う必要があります。

RoHS指令では2015年の官報 (Directive (EU) 2015/863) で特定フタル酸エステル類 (DEHP, BBP, DBP, DIBP) の制限物質への追加が決定されました。

また、REACH規則においても制限物質 (Annex XVII) や認可対象物質 (Annex XIV) に挙げられるなど管理対象に広がりを見せています。



SGSジャパンではフタル酸エステル類のスクリーニング並びに精密分析のサービスをご提供いたします。

RoHS指令対応のフタル酸エステル類分析法は2017年3月にIEC62321-8が発行し、スクリーニング定性分析と精密定量分析のステップが示されました。

●スクリーニング定性判定ステップ

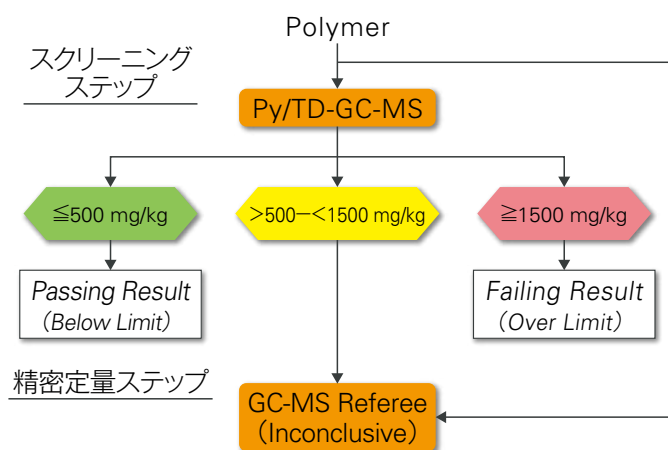
～熱抽出ガスクロマトグラフ質量分析法

パイロライザーにより熱抽出した発生ガスを分析します。サンプリング量が1mg以下と微量のため、重量が確保できないサンプルや、局所を狙ったサンプリングが可能です。検出下限値：100mg/kg (各項目)

●精密定量分析ステップ

～溶媒抽出-ガスクロマトグラフ質量分析法

有機溶媒で抽出した後、GC/MSにて測定を行います。定量値でのご報告になります。方法下限値：50mg/kg (各項目)



熱抽出ガスクロマトグラフ質量分析法を用いた樹脂中添加剂 (臭素系・塩素系難燃剤) のスクリーニング分析も対応しています。

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0165237018307563>

☆詳細については、下記にお問い合わせください。

■ お問い合わせ先 ■

SGSジャパン株式会社 C&P Connectivity化学物質管理

〒240-0005

横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパーク イーストタワー12F

Tel : 050-3773-4510

E-mail : jpchem.sales@sgs.com

ISO / IEC 17025:2017 認定ラボ

※弊社のケミカルラボラトリーはISO17025認定を取得しています。認定範囲はお問い合わせください。

WHEN YOU NEED TO BE SURE

SGS